

～今、市民の森では！～



作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会  
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin\_bunka@yahoo.co.jp)  
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

記号の説明:  
①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照  
②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

**茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」**  
(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

**茅野市 市民の森ガイドブック2「森を楽しむ」**は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。  
《取扱所》 茅野市尖石縄文考古館 売店  
茅野市北山 カフェ 午後の森  
《問合せ》 NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会  
☎: 0266- 75-1772

昆虫もたくさん載っています

**天候に恵まれて** (悦)

梅雨真っ只中にも関わらず、好天の爽やかな一日で、蝶、トンボも飛び、昆虫観察もできました。今回は、第一駐車場→沢沿いの小径→南コース→(池:昼食)→野鳥の小径→第一駐車場という経路で巡りました。今日の花の見頃は、南コースの満開のオオバアサガラ、コース全体で見られるウツギ、ガマズミです。今回は、昆虫少年(?)2名の昆虫網が大活躍。採集した蝶、トンボを昼食後に凶鑑と照らしながら同定会を行いました。もちろん、観察した昆虫は観察後、森に戻っていきました。



ウツギ



サワギク

**好天の観察会** (洋) 写真(悦)

梅雨の晴れ間に、いろいろな花を観察でき、6月の森を堪能しました。コアジサイは姿も香りも清楚。オオバアサガラの花は優雅な感じ。なんと、最後に駐車場でアサギマダラが舞っていた。道中で幼虫は幾つか観察できていたが。成虫に会えて感動しました。



コアジサイ



オオバアサガラ

**あっ！飛びじゃった** (新)

今回の観察会では蝶と蛾の見分け方、トンボの雄雌の見分け方を知ることができました。自宅に戻り、早速家人にクイズを出し、自分自身の記憶の定着を図りました(笑)葉に留っていたトンボを撮ったつもりが、飛び立ったところの写真になっていました。この写真では雄か雌かわかりませんが、これからの観察の楽しみが増えました。



**市民の森はますます賑やか** (口)

○葉っぱの下に黄色い足、取り除いてみたらサンコタケでした。



○切り株の上にアマガエル、凜としたポーズです。



○今年もマイマイガの登場です



**あー！** (悦)

皆が帰った後、道の上に沢山の花殻が落ちていたのに気づきました。これは、今日観察予定で見逃してしまったサルナシの雄花ですよ！サルナシの実にはベビーキウイ、ミニキウイなどと呼ばれ、生食で美味しく食べられるそうです。しかし、落ちていたのは雄花。サルナシは雌雄異株と雑居性(雌雄混株)とがあるそうですから実も期待できるかもしれません。しかし、しかし、見上げてどこにいたのやら分からないのでは試食は無理そうです。



**6月観察した花** (悦)

- ✿ ムラサキサギゴケ②75
- ✿ ナワシロイチゴ①86
- ✿ タチツボスミ①77
- ✿ コアジサイ①89
- ✿ クサノオウ①73
- ✿ サワギク①87
- ✿ ニガナ①87
- ✿ コクサギ①137
- ✿ クモキリソウ①93
- ✿ ウツギ①88
- ✿ エビガライチゴ②77
- ✿ フタリシズカ①83
- ✿ オオバアサガラ①130
- ✿ ウメガサソウ①94
- ✿ マムシグサ①79

**6月観察した果実**

- ✿ ミヤマウグイスカグラ①67
- ✿ コクサギ①137
- ✿ カラコギカエデ①132
- ✿ ヒトツバカエデ
- ✿ グワ①128
- ✿ ウリハダカエデ①68
- ✿ ヘビイチゴ①72
- ✿ カスミザクラ ①70
- ✿ ミヤマザクラ ①70①
- ✿ ズミ ①71
- ✿ ニガイチゴ①72
- ✿ モミジイチゴ①72
- ✿ オトコヨウゾメ①76
- ✿ コバノガマズミ①76
- ✿ ギンリョウソウ①76

**6月観察したムシ達** (馬)

- <蝶>
- ウスバアゲハ②109
- モンキチョウ♂♀②110
- キタキチョウ②110
- ヒョウモンの仲間
- ミスジチョウ②115
- コミスジ②115
- イチモンジチョウ②114
- クロヒカゲ②116
- ヒメウラナミジャノメ②115
- アサギマダラ(若齢幼虫・成虫)②117
- ムラサキシジミ
- アカシジミ②110
- ウラゴマダラシジミ②110
- ヒメキマダラセセリ♂♀②118
- コチャバネセセリ♂♀②118
- <ガ>
- キンモンガ
- <トンボ>
- ヤンマ?の仲間
- シオヤトンボ♂♀②128
- ニホンカワトンボ♂♀②127
- イトトンボの仲間
- <セミ>
- エゾハルゼミ(鳴き声)②129
- <甲虫>
- オオゾウムシ
- ニワハンミョウ②124
- オオヒラタシデムシ
- <水性昆虫>
- ガムシ②134

**満足の6月** (黒)

● 梅雨の真ん中なのに観察会は晴れた。ラッキー！  
待望のアサギマダラの幼虫。すでに卵の時代を過ぎ、幼虫に。まだ4mm前後と小さいけれど、存在感十分。細かい模様が成虫(蝶になった時)の姿を想像させます。



● そして、一年ぶりのスミナガシの幼虫との出会い。こんな小さいマッチ棒のような幼虫が、あの仮面舞踏会の主役クラスの雰囲気醸し出す存在になるとは。そして、地味だけどシックな模様の蝶に変身するとは、誰も想像できないはず。



大きくなったらまた会おうね、挨拶してきました。

● 最後に、オオバアサガラの花の見事な様子。咲いている様子も素晴らしいけれど、花を落とした地面を見るとさらに感動が。足元を明るくしてくれる花のカーペット。

**実と思いきや...** (順)

6月の森ではミヤマウズイスカグラ、コクサギ、カラコギカエデ、ガマズミが早くも実をつけていました。この毛で覆われたのも実?と思ったら開花前の萼、花弁は開花しても広がらず雄しべを囲み、花弁が散るとまた萼が閉じて元通りの姿に戻ってから実になるそうです。

何とも不思議なエビガライチゴ。ピンク色の花弁はナワシロイチゴで、ともにバラ科キイチゴ属。



**麗しのアカシジミ**

尾錠突起が美しいフォルムのアカシジミ。

翅裏はオレンジに白や黒のアクセントラインも鮮やかなエスニック風の洒落たデザイン。触覚やアシ先を見れば、細かい黒白のストライプ模様。粋なカラーコードとこだわりのディテールはもはや脱帽の美しさでした。



**イントロ聴けた!**

エゾハルゼミのイントロ、翌日に自宅で確認しました。「ニョギー、ニョギー」の後に「キョキョキョキョ」とお馴染みの声が続いていました。

**コアジサイ** (悦)



特徴:

- 装飾花がない!
- 両性花で花弁5枚、雄しべは10個、花柱は3~4個で、花が終わった後、額と花柱が残る。
- 開花時期にはほんのりと甘い香りが楽しめるのも魅力。
- 比較的、暗いところに生息。

**自分での課題** (昭) 写真(悦)

観察会では、毎回新しい発見や話を聞くことが出来るうえ、季節の風を感じ、楽しいふれあいと、健康維持が出来ますが、今回は、自分での課題にしていた、野生ランと、水が有っても、居ないのかと探していた小魚の群れを見つけた事が、二つも叶い、感動でした。小魚は、メダカからタナゴ位で7~8匹単位で数グループでした。



クモキリソウ

**クモキリソウ騒動** (直)

この植物は「クモキリソウ」だったかな?と、HP「植物ガイド」にて検索したものの該当なし。次に「クモキリソウ」で検索したところ、ピンゴでした!が、「蜘蛛斬草」とイメージしていたのが、「雲切草」だったことも判明。言われてみれば確かに!ガイドを見て良かったです!

**森の中での出会い数々** (山2)

貴重な出会いがありました。

- イケマの葉っぱの裏にいたアサギマダラの幼虫に会いました。



幼虫も、とてもきれいな模様。



イケマにもフジバカマと同様にアルカロイドを含む毒があるらしい。これを食べることでアサギマダラの幼虫は鳥や外敵から身を守るらしい。そうしてアサギマダラは小さな体

で遠く沖縄など南方にも旅をするらしい。

- マタタビの木は花を咲かせるために木の葉を白くしてキラキラさせるようだ。

自然界にはすごいルールが沢山あることに驚きました。

- 他に、こんなかわいいカエルにも会いました。おやゆび姫を思い出しました。

森の中には楽しいことがいっぱいあります。



ミヤマウズイスカグラ

ズミ

モミジイチゴ

ヤマグワ

**ウメガサソウ と スイカズラ** (ワ)

念願のウメガサソウの花をみることが出来て、良かったです。図鑑では、雄蕊は10本あるとのことでしたが、花が下向きで、確認できなかったのが、残念です。雄蕊の先端に孔があり、そこから花粉を放出することですが、私のスマホではとても無理でした。スイカズラの花も綺麗でした。シロバナの雄蕊、たくさんの花粉が付着していて、今まさに花粉を放出している様子が、わかります。雌蕊の柱頭にもたくさんの花粉が既に付着しています。黄色の花は、雄蕊が花粉を放出し終えて、心なしかしなびたような感じで、こちらはスマホの写真でも撮影できました。



ウメガサソウ

スイカズラ 白

スイカズラ 黄色

**思い思いに** (直)

時には思い思いに、時にはわいわい。皆さん、いきものに熱中です。



**今はハルジオン(春紫苑)** (悦)

これから徐々にヒメジョオン(姫女苑)に変わっていきます。そのハルジオンとヒメジョオンの見分け方はガイドブックにもありますが、以下です。



比較箇所	ハルジオン GB②75	ヒメジョオン GB②86
葉の付け根	 葉の付け根が茎を抱く	 葉は茎を抱かない
茎	 茎の中が空洞	 茎は空洞でない

**らんまんもどき** (茂)

- 植物学者・牧野富太郎になりながら市民の森を歩く。



- イケマの葉裏に隠れて食事の鮮やか模様のアサギマダラの幼虫。



**ガムシ** (吉) 写真(悦)

池でガムシを発見。ガムシ(牙虫)の名の由来は、お腹の牙のような突起を使って歩くからだそうです。昔から食べていた地域があるそうです。ココロギの前に試食してみたい人は、「蟲ソムリエ.net ガムシ」でどうぞ。ちなみにココロギの試食なら茅野にはクリケツファームがあるそうです。



**森のグランドカバー** (悦)



ムラサキサギゴケ